



幸樹

こう じゅ

第70号

2021年1月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

.....幸樹会事業所.....

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

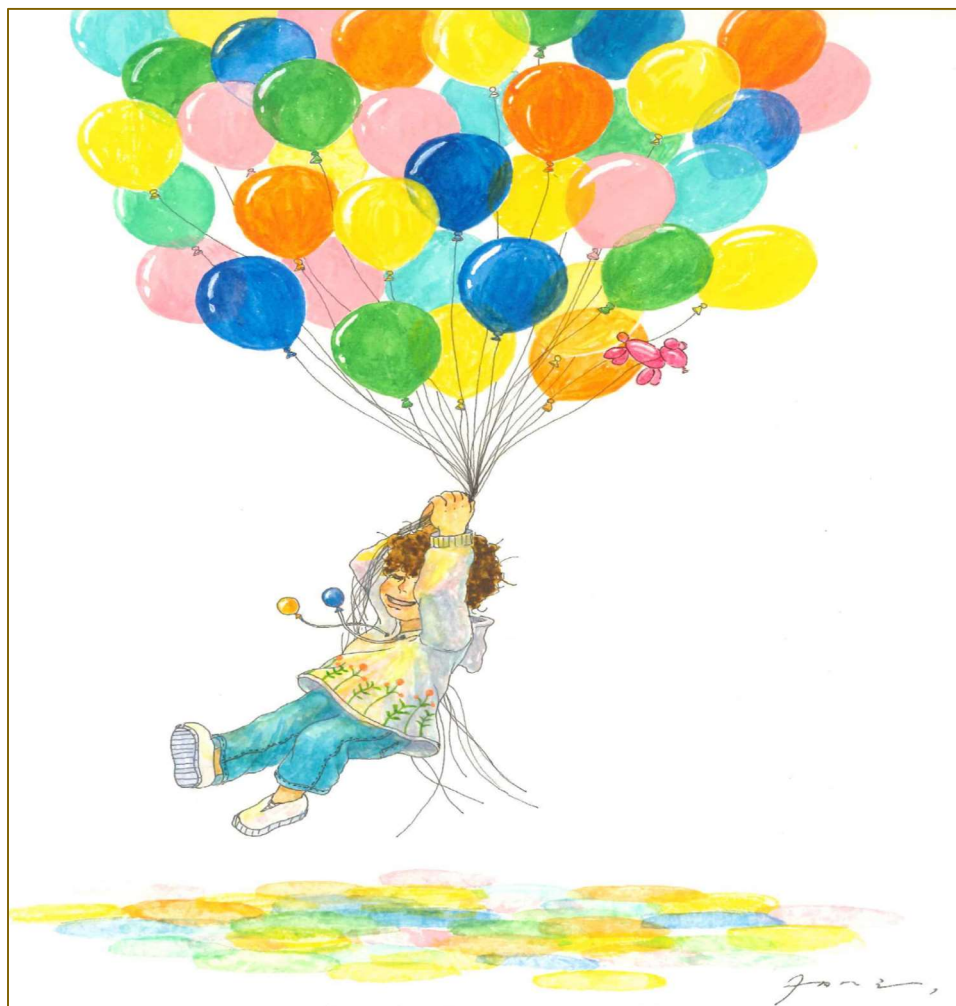
あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



たかはし しょうた
絵・高橋 聖大

創刊号から第16号
まで表紙絵を描いてい
ただいた高橋さんの再
登場です。1990年7月
13日、松戸市生まれ。
2014年多摩美大卒。

人と人との関係を糸いで

一般社団法人幸樹会代表理事 中野 三代子

明けましておめでとうございます。
昨年中は、大変お世話に
なりました。

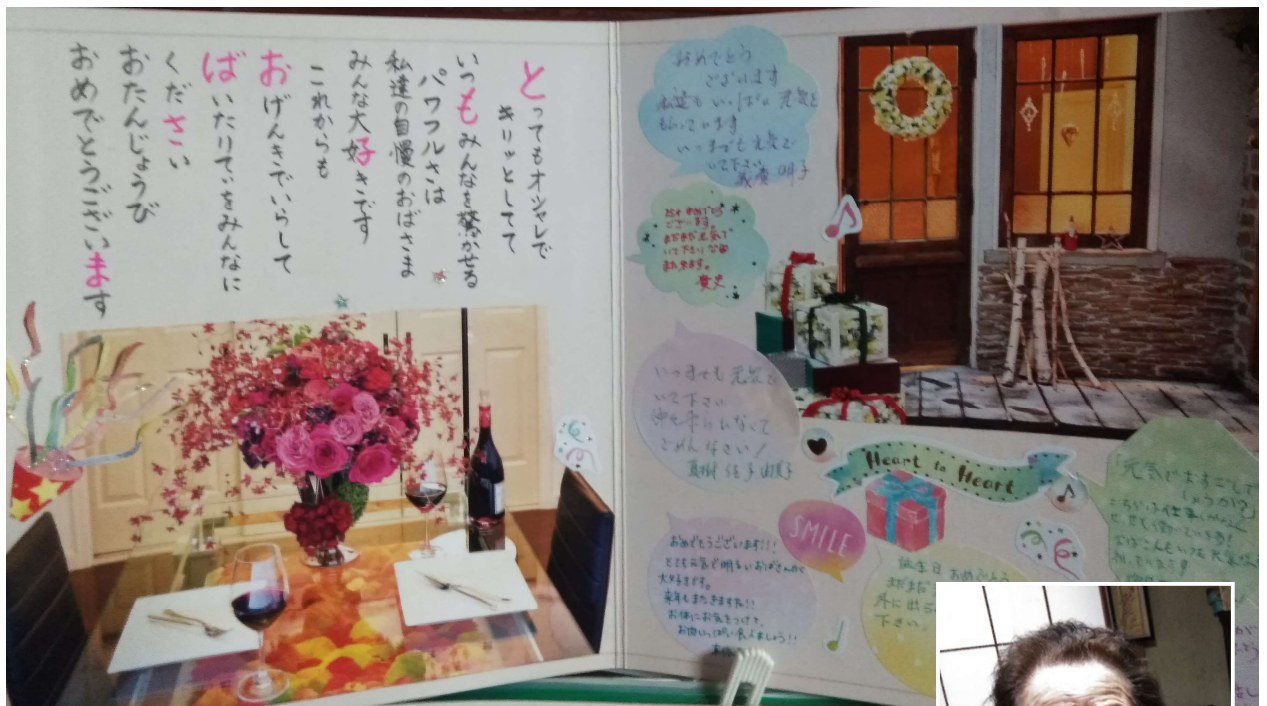
2020年は、新型コロナウイルスという無症状でも感染し、感染すると命の危険があり、味覚障害・心筋炎等の後遺症もある恐ろしいウイルスとの闘いで始まりました。治療が必要な方、介護が必要な方が閉じこもり、病状や心身機能が悪化するというようなことも起きています。社会的にも大きな影響があり、差別や貧困、失業などで生活が困難



になり、“自助”ではどうすることもできない人々が増えています。政府が、国民の命と暮らしを守る義務をもっと果たしていただきたいと思います。コロナ禍での国民の苦難をよそに、政権与党から噴き出す汚職・政治の私物化疑惑は、怒りを通り越してあきれ果て、がっかり気分させられます。

状況はさらに深刻になって行く様相ですが、私たちは、感染対策を徹底し、定期的にPCR検査も受けて、患者・利用者の皆さんに安全なケアが提供できるよう努めていきます。「住み慣れた自宅・地域で最後まで自分らしく人生を全うすることを支援する」という幸樹会の理念にもとづく実践に引き続き取り組んでいきます。人々、国々が分断される今だからこそ、人々を繋ぐ活動を行こうと強く決意しています。

2021年も、よろしくお願いいたします。



お誕生日に贈られたお祝いの寄せ書き

高嶋トモさんに、お聞きました

「こんなおばあちゃんの写真が、載っちゃってはいけないわよね。恥ずかしいわ」と話されていましたが、お誕生日の機会にお話を聞かせて頂きました。

(聞き手・板垣信子)

高嶋トモさんは、大正13年生まれで97歳、秋田生まれで、17歳まで千葉の茂原で過ごしました。昭和25年に結婚し、世田谷や北王子にお住まいになりました。世田谷にいたときは、庭に6畳ほどのコテージがあったそうです。

昭和21年から44年まで、東宝映画の総務課で秘書をされていました。

「あれ、何年働いたのかしら。23歳から55歳まで働いたんだから。すごいでしょ。俳優の池部良さん知っている？日本映画俳優協会の理事長だったんだけど、二枚目で素敵だったわよ。みんなもう知らないわよね」と、昔にタイムスリップしたかのように楽しそうにお話しされます。

昭和42年頃に千葉県に転居。昭和60年に夫が鉄工所を起業し、今の家に住んでいます。鉄工所は自宅のそばにあります。夫は、平成14年10月に心臓病で他界されました。夫が他界後は、義弟が会社を引き継いでいてくれることがうれしいと話されます。

今は一人暮らしですが、姪御さんが月2回ほど買い物を手伝ってくれ、甥御さんもちよくちよく訪問して手伝ってくれています。誕生日会は毎年、姪や甥とそ

の家族とともに、レストランで食事会をしているそうです。コロナ禍の今年は、外食をやめて、自宅で11月30日にお誕生日会を開いてくれました。

隣人の方が、毎日雨戸の開け閉め、ごみ出し、庭の掃除等をしてくださり、高嶋さんを見守っています。

私たち訪問看護師が、関わらせていただいてから、2回ほど大きく体調を崩して病院に行った方がいいのではと思われることがありましたが、「絶対、病院には運ばないでね。みんなが来てくれれば大丈夫だから」と、自宅で頑張り続けています。食事が取れなくなった時も、自宅で点滴をして入院せずに乗り切りました。

「みんながいるから助かっている」「膝が痛くて死にたいと思うことがあるけど、みんながいてくれるから、死ねないね」「120歳まで生きちゃおうかな」と笑って話されます。

去年のお正月明けの訪問時は、「正月は、もういないかと思ったけど、生きちゃったわよ」と笑って話されていました。「今年は、時々転んでいるけど、沢山食べて、笑って、看護師さんが毎日来る事もなく過ごせているね」と、話されています。

今月の屋上太陽光発電量は、

619KWh

幸樹会館電力使用量 5294KWh

自給率 11.69%



あんず訪問看護ステーション・作業療法士

三上 真吾

「作業療法士ってどんなことをするの？」

病院勤務の頃、患者さんから質問されたことがあります。「病気を持った方に再び自分らしい生活を送っていただくお手伝いをするお仕事です」とお答えしました。少し漠然とした答えだったかもしれませんが。

常に「学ぶ」姿勢を崩さずに



介護用リフト研修会（12月2日）

「自分らしい生活」とは何か？今になってふと考えることがあります。子供であれば学校に通って勉強して友達と遊んで…。大人であれば、家事に仕事に育児に趣味に…。しかし、実際の生活とは、生まれ育った環境や時代、個人の価値観等によって細かく変化し、また多くの作業の積み重ねで成り立っています。この世に全く同じ生活を送っている方は一人もいないというわけです。作業療法士は、そんな一人ひとりの「生活」と向き合い、質の高いリハビリテーションを提供するために、ご利用者に対しては、常に「なんでも屋」でなければなりません。

病院時代は、車の運転練習や家事練習、公共交通機関を使つての外出訓練、復職・就学支援、畑仕事や趣味活動等、患者さんが望む生活像に少しでも近づけられるようにと、あらゆる手段を使つてリハビリテーション支援を行ってきました。しかし、そのためにはその人の個々の作業に必要な身体機能や認知機能を細かく分析したうえで、プログラムを立てる必要があるため、専門領域に加え解剖・運動学、精神医学といった幅広い分野の知識を持たなくてはなりません。またトイレや入浴・食事等の日常生活動作や立ったり歩いたりする基本的な動作も含めると、作業療法士が観察すべきポイントは数多くあるのです。私はこの職業

に「天井」はなく、働きながらも常に「学ぶ」姿勢を崩さないことが大切であると考えています。

もうひとつ作業療法士には、環境評価の仕事があります。ご利用者の能力とご家族の介護力、環境面の観点から、ご本人に適した福祉用具を選定し、住宅改修に関する提案等を行うことです。福祉用具・福祉機器に関する情報も提供・提案できるように、常にアップデートし続ける必要があります。

先日、健和会補助器具センターの太田智之さんにお越しいただき、介護用リフト研修会を開いていただきました。介護用リフトとは自身で身体を動かし車いすや浴槽等への出入りが難しい方の移動を補助し、介護者の負担を軽減することを目的として使用されます。リフト本体と被介護者を繋ぐ吊り具を使い分けることで、その方のレベルや使用目的に合わせた対応が可能となります。これまで歩行補助具や自助具等を多く取り扱ってきた自分にとって、介護用リフトのように介護するご家族側にも焦点をあて、地域での生活をサポートする福祉機器の紹介はとても新鮮で、新しい発見が出来た喜びと、作業療法士としての勉強不足を痛感した、大変実りある一日となりました。

「病院のなんでも屋」から「地域のなんでも屋」に。学ぶべき範囲が広がったことで、焦りと不安、そしてやりがいを感じながら日々ケアにあたらせて頂いております。

さんしょうクリスマス会



幸樹会では、できるだけ普通の生活をと、感染防止対策をとりながらも、看多機さんしょうの利用者さんと職員だけで地域交流カフェを続けています。12月15日はクリスマス会を行いました。牧師の岡野俊之、めぐみ夫妻にクリスマスの本当の意味についてお話していただきました。お楽しみの料理は、グリルチキン温野菜添え、ご飯、辰巳芳子さんレシピの命のスープです。その後、リハスタッフによる手作り楽器で、クリスマスソングを利用者さんと共に演奏したり、体操をしたりと楽しい活動が続き、あんず居宅のケアマネジャーとケアステーションゆずの職員のグラス楽器の演奏もあって、クリスマス気分を満喫しました。いつものようにはできませんでしたが、アットホームな優しいクリスマス会になりました。



デンマーク便り...③②

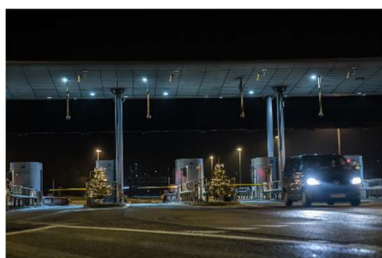
ラスムッセン 京子

クリスマスイブは当直でした。新型コロナウイルス感染者の入院が我が病院でも増加しています。現在 60 人程が入院、その内 ICU で呼吸器を装着されている方が 7 人になりました。一部、院内感染もあり自宅で自粛しなければならない医師や看護婦も増加しているので、他の科からの応援など、病院内でも一時的に配置転換をしなければならないので、全ての職員がいつもの様に働けるかはわかりません。専門医教育課程の医師は、今は交代で臨床現場の応援に行っています。

一人で過ごすクリスマス

私は、胸部診断を専門にしているので忙しくなってきました。昨日は早朝 5 時半から出勤し、感染患者の増加に対応するために、来年に計画されていた患者さんの胸部 CT の内、5 週間までは待てるというリストを選出するという作業を朝の会議前と当直後もおこないました。リュウマチでメトトレキサートという免疫反応で炎症が起きている可能性があり呼吸器の症状もあり肺の繊維化を起こす可能性がある人、癌で肺に転移が疑われる患者、肺の疾患で薬剤の効果または薬剤を一時使っていない等の患者の予後についての判断での CT は、検査をしないわけにはいきません。以前の検査を見て、カルテを読んで一人一人待てるかどうか判断していきます。どうして 5 週間待てるのか判断基準となった事を書いて、将来起こるかもしれない訴訟に備えます。胸部診断部門の責任者をやっているから仕方ないのですが、いい加減には行えません。

今年のクリスマスは家族でも 5 人以上個人の家庭に集まらない様という厚生省からの自粛通達があり、皆さん静かなクリスマスを過ごしていると思います。



閉ざされたフェリーのゲート

私は、クリスマスイブの当直後は朝早く島の実家に帰宅して夫と二人で 3 日間過ごす予定でした。残念ながらスウェーデンが国境を閉鎖、島にスウェーデン経由で帰宅できないことになりました。デンマークに住むようになって初めての一人で過ごすクリスマスです。

先月書いたミンクの事ですが、その後も大変な展開がありました。普通ミンクのお肉の方はペットフードの材料として使われていますが、感染の可能性もあるという事で廃棄処分として埋葬されました。デンマークには湖が多いため 300m 以上離して埋葬という事に

なっているのですが、それが守れていなくて湖を汚染する可能性があるとして、一部掘り返して別の場所に埋葬するという事になりました。地下水の水質汚染で飲み水に影響が懸念されている地区も有ります。

2020 年は大変な年でした。2021 年は疫学的リスクのない社会に戻って欲しいと思います。

弘前から真っ赤なリンゴ

今年も青森県弘前の成田富作さんから真っ赤なリンゴが届きました。ありがとうございました。

成田さんは、松戸で焼き芋屋さんをしていました。「ちょっとおまけしておくね」と言って大き目のお芋を選んで渡してくれる熱々の焼き芋は最高でした。4 年前、成田さんが弘前に帰ることを決めた時には、最後に幸樹会館まで焼き芋車で売り



に来てくれました。甘い熱々の焼き芋に、看多機さんしょうの利用者さんも職員も感激した思い出があります。冬になるとスーパーなどでも焼き芋を買いますが、やっぱり成田さんの焼き芋とは違うのです。

成田さんは今、弘前でおでん屋さんをしていらっしゃいます。「弘前城の桜はきれいだよ。いつか見においで」と教えられ、今年こそと思っていたが、コロナ禍になり断念。いつか安心して遊びに行けるようになったら、弘前城と桜を見たいです。

リンゴはみんなで美味しくいただきました。

八柱学習会

●前回報告 12 月 18 日 (金)、助言者：武井幸穂氏
「地域ケアの変遷と未来-1975～2020 の時代体験と実践から語る①」お話・武井幸穂氏

参加者 15 名。社会の構造、歴史の見方、60 年以降の高度経済成長と医療・介護の動きなどの話。

▼次回学習会予定 (「定例日：毎月第 3 金曜日」)
1 月 15 日 (金) 18:30～、あつまれ幸樹
「地域ケアの変遷と未来-1975～2020 の時代体験と実践から語る②」お話・武井幸穂氏 《参加自由》

職員募集！ 非営利・働きがいある職場 看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550